

別記様式（第2条関係）

## 会議結果報告書

平成26年9月26日

会議の名称	【第2回】志木市庁舎及び市民会館複合化施設建設 庁内検討プロジェクト・チーム会議
開催日時	平成26年9月26日（金）14時00分～15時30分
開催場所	第3委員会室
出席者職氏名	[チームリーダー等] リーダー：中村新庁舎建設推進室長（進行者） サブリーダー：野口市民活動推進課長、浅見建築課長（計3人） [庁内検討プロジェクト・チームメンバー] 松永政策推進課長、尾崎人事課長、田中財政課長、村上福祉課長、 園原都市計画課長、清水会計課長、藤議会議務局次長、大河内監査 委員事務局次長、竹脇教育総務課長（計9人）
欠席者職氏名	今野事務管理課長、大熊生活安全課長、渋谷上下水道総務課長 （計3人）
説明職員氏名	中村新庁舎建設推進室長、山本新庁舎建設推進室主幹、 田中新庁舎建設推進室主任（計3人）
議題	①平成25年度オフィス環境調査について（資料1） ②新庁舎の整備計画（案）について（資料2） ③プロジェクト・チームと作業部会の進め方について（資料3）
結果	平成25年度オフィス環境調査及び新庁舎の整備計画（案）により、 執務環境等の現状や課題等を把握した。今回は、基本計画を策定 するため、職員の意見を作業部会において収集する。その意見をも とに、プロジェクト・チームでは現況や課題、整備の方向性につ いて検討を行う。
事務局等氏名	山本新庁舎建設推進室主幹、田中新庁舎建設推進室主任 成田建築課主幹 コンサルタント（4人）（計7人）
その他必要事項	

## 会議内容の記録（会議経過、結論等）

### 1 開会

中村新庁舎建設推進室長が開会を告げる。

### 2 あいさつ

中村新庁舎建設推進室長があいさつをする。

### 3 報告事項

#### 1) 本日の議題及び進め方説明

中村新庁舎建設推進室長から本日の議題及び進め方について説明。

#### 2) 庁内検討プロジェクト・チーム会議の報告

山本新庁舎建設推進室主幹から、8月8日第1回庁内検討プロジェクト・チーム会議結果報告書について報告。

#### 3) 市民検討委員会の報告

山本新庁舎建設推進室主幹から、8月28日に開催された第2回市民検討委員会について報告。

### 4 協議事項（プロジェクト・チームメンバーはメンバーと表記する。）

#### 1) オフィス環境調査について

##### ○概要説明

コンサルから、資料1に基づき平成25年度オフィス環境調査について説明。

##### ○質疑及び協議

リーダー：4ページ「一般ワークスペースの部門別一人当たり面積比較表」において、

**【B】** 現況の平均6.13㎡/人は、社団法人ニューオフィス推進協議会によるニューオフィスミニマム6㎡/人をクリアしている。個々にみると、基準を下回る部署も多い。これは床等に資料を置くなど、執務スペースが小さくなっているためか。

コンサル：調査では、実質的な文書収納場所について確認していない。文書量をもとに必要キャビネット数を算出して、面積に換算している。実態に近づけるために、参考としてその結果を現況課ごとの面積から除いて、各課のばらつきを調べてみた。

リーダー：5ページ以降の現況写真では、視覚的に現状の問題点等がわかる。新庁舎において改善される点になってくる。

リーダー：8ページ以降で、保管文書量は現況平均4.14fm/人と他市事例と比較して多くはないが、理想的には2.5～3.5fmに減らす余地がある。

リーダー：10ページ会議室利用について、現在会議室がとりにくいイメージがあるが、会議室を作業や文書置き場として利用していることも要因と考えられる。必要な諸室を設ければ解消されるので、ここでは、必要な会議スペースを算出している。

その他、会議室や相談室のスペースは利用頻度をみて必要数及び面積を算出している。23ページではそれらを集計して、面積が算出されている。一般執務スペースは現状より面積が増える。

メンバー：4ページ「一般ワークスペースの部門別一人当たり面積比較表」中、備考欄の収納コールセンターと就労支援センターは所属が違う。

コンサル：確認して、誤記を修正する。

メンバー：これは昨年の調査結果であるが、今後事務の権限委譲や政策的事務など、新たな人員やスペース等が出てきた場合、どのように調整していくのか。

サブリーダー：調査では人事課の現状データをもとに作成しているので、人員の増加等に対してはスペースの確保が必要になってくる。オフィス環境調査に示された新庁舎の規模は、現組織を調査して算出している。中間答申において示されたおおよその規模11,000㎡は、このオフィス環境調査による面積、旧総務省算定基準面積、最近の先進事例調査をもとに想定している。オフィス環境調査では、参考として現状を理解するために算出したものである。想定規模は大きくは変わらないと思うが、人員や仕事量に対するスペース増加など、具体的にはレイアウト段階において、今後の組織に対応して検討が必要である。

## 2) 新庁舎の整備計画（案）について

### ○概要説明

コンサルから、資料2に基づき新庁舎の整備計画（案）として、基本的なフロア構成、窓口・執務空間等、駐車場・駐輪場に関する考え方について説明。

## 3) プロジェクト・チームと作業部会の進め方について

### ○概要説明

田中新庁舎建設推進室主任から、資料3に基づきプロジェクト・チームと作業部会の進め方について説明。

### ○質疑及び協議

リーダー：作業部会への依頼は後日メールで通知するので、主管課長でもあるメンバーの皆さんからは、部内各課への説明をお願いしたい。

メンバー：作業部会の構成メンバーは、課員数など、各課の状況によって異なると考えてよいか。

リーダー：職員の意見を聞くことが目的なので、構成は課によって任せる。

メンバー：作業部会独自の集まりはあるのか。

リーダー：作業部会の集まりにおいて、オフィス環境調査等について説明を行う。共通認識をもって進められるように図っていききたい。

メンバー：作業部会での意見収集は今年度中と考えてよいか。

サブリーダー：市民検討委員会にも今年中でまとめるようお願いしている。今年中に、資料2にあるような、言葉として考え方を整理したい。具体的なレイアウト等については、基本設計に入ってから検討となる。各段階で検討する事項があるので、工事完了まで、当プロジェクト・チームや作業部会において、継続して検討が必要である。

メンバー：作業部会での検討内容としては、「庁舎建設プロジェクト・チームの検討・整理事項」の大項目について意見収集行うことになるか。

サブリーダー：大項目がベースとなるが、その他は自由に意見を出してもらえばよいと思う。市民検討委員会では昨年度、今年度と先進地に視察を行う。庁内においても先進地視察や他市に出向いた際に、参考にできるものを見て、課題等を見つけてほしい。

サブリーダー：防災機能についても、災害時の対応や考え方等について職員の意見が聞きたい。東日本大震災の際、1・2階では来庁者の避難対応などたいへんだった。

#### 4) 今後の予定について

リーダー：第3回の予定として、10月30日（木）午前中に、防災対策についての勉強会を行う。後日、時間等について連絡する。

また、10月6日（月）に市民検討委員会の視察があるので、同行可能な方は出席願いたい。

サブリーダー：全員が一同で視察するのは日程上難しい。課によって運用に特徴がある先進地を視察することも考えられるので、作業部会のメンバーを含めて個別で視察を行ってもよいと思う。その際、プロジェクト・チームに資料を提供してもらいたい。全員で行けば1・2事例だが、個別に行えば5・6事例を共有できる。市民会館との複合施設も同様である。

#### 5 閉会

野口市民活動推進課長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。